

企業とデザイナーによる協業体験

東京都（企画・運営：（公財）東京都中小企業振興公社）では、デザイン実践事業の一環として、デザイン導入に取り組む企業がデザイナーとともに商品開発やブランドづくりを体験する「デザインワークショップ」を開催している。「デザイン経営宣言」（2018）を受け、中小企業経営にデザインの活用が益々求められていく状況を踏まえ、本ワークショップは、～新たな価値を生み出すツール「経営デザインシート」を書いてみよう～と題して開催した。具体的には「**経営デザインシート**」を活用し、自社や事業についてデザイナーとともに考え、協同で作成することで、未来に向けた「価値を生み出す仕組み」について学ぶ機会を提供した。

【ワークショップ（210分）】

- 経営デザインシートを拡大印刷し、付箋を多数用意
- 企業担当者とデザイナーがチームを組んで、SDGsもヒントにしながら「2030年はこうしたい」と「2030年に向けてどうするか？」を付箋に書き出しながら議論。**経営デザインシート**を有効活用。



経営デザインシートを活用した感想・効果

- 客観的に会社のことが考えられる良い機会になった。
- 自分たちが将来どのようにしていきたいかが明確になった。
- 企業側は開発や戦略以前に悩まれている部分が多く、そこが全てに影響しているというのが実感できた。